

平成 25 年 2 月 4 日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 ファイナンス研究会 24 年度第二回会合 議事録

1. 会合概要

- (1) 開催日時 2013 年 01 月 25 日 (金) 18:00~20:00
- (2) 場所 東京都新宿区西新宿 1-24-1
エステック情報ビル 27 階 E 会議室 (JR 線 新宿駅)
- (3) 今回の議長役 高橋 孝一 (NKSJ リスクマネジメント株式会社)
- (4) 出席者 衣笠 貴宣 氏 (東芝保険サービス株式会社)
関口 健二 氏 (個人)
田代 邦幸 氏 (株式会社インターリスク総研)
高橋 孝一 (NKSJ リスクマネジメント株式会社)
吉田 勇氣 (NKSJ リスクマネジメント株式会社)
- (5) 欠席 伊藤 哲夫 氏 (株式会社パソナ)
高根沢 保 氏 (ソニー生命保険株式会社)
高橋 孝治 氏 (高橋孝治公認会計士事務所)

ファイナンス研究会 計 8 名

2. 主要な決定事項

- 過去からの制度的な問題点により、企業への普及が進んでいないリスクファイナンスに関し、今後のあるべき姿をファイナンス研究会の中で検討していくことが決定した。

3. 会合内容

(1) 融資、保険、ART 等に関する実態調査結果について

地震等の災害に企業が被災した時に活用できる資金調達手段 (リスクファイナンス) には、損害保険のみならず、コミットメントライン (融資) や証券化を活用した CAT ボンド等、様々なものがある。そして、これらも手段を活用することで、例えば支払の即時性を確保できる等、企業は様々なメリットを受けることができる。

しかしながら、これらのリスクファイナンスは、企業に十分に浸透していないというのが現状である。すなわち、企業が自社にとって効果的且つ効率的なリスクファイナンスを選択できていない。

(2) 今後のファイナンス研究会の活動方針について

(1)を踏まえ、今後のファイナンス研究会の活動方針として、リスクファイナンスが普及していない問題点に対する、改善策案を検討していく。

以上